

インターロッキングブロック舗装 Technical Report － 出来形および品質管理編 － (その2)

Vol.59

1. 基準試験

(1) 構築路床と路盤材料の基準試験

構築路床と路盤に用いる材料について基準試験を行い品質が規格に適合していることを確認します。材料試験や配合試験は、製造者の試験成績表によって試験の実施に代えることができます。

① 構築路床の基準試験

構築路床の基準試験項目の例を表1に示します。

表1 構築路床の基準試験項目の例

試験項目	工法, 材料 路床土	改良材料		
		セメント安定処理	石灰安定処理	良質な粒状材料
最大乾燥密度	—	○	○	○
CBR試験	設計CBR	CBR値	CBR値	修正CBR
安定材の量	—	○	○	—

② 下層路盤の基準試験

下層路盤に用いる材料の基準試験項目の例を表2に示します。

表2 下層路盤の基準試験項目の例

試験項目	工法, 材料 クラッシュラン, 砂	鉄鋼スラグ
材料, 混合物粒度	○	○
PI (塑性指数)	○	—
最大乾燥密度	○	○
修正CBR	○	○

③ 上層路盤の基準試験

上層路盤に用いる材料の基準試験項目の例を表3に示します。

表3 上層路盤の基準試験項目の例

工法, 材料 試験項目	粒度調整砕石	粒度調整 鉄鋼スラグ	セメント安定処理, セメント瀝青安定処理	瀝青安定処理, 透水性瀝青安定処理
材料, 混合物粒度	○	○	○	○
P I (塑性指数)	○	—	—	—
密度	○	○	○	○
修正CBR	○	○	—	—
一軸圧縮強さ	—	—	○	—
マーシャル安定度	—	—	—	○
安定材の量	—	—	○	○

④ 敷砂層・目地用材料の基準試験

敷砂層として用いる敷砂の基準試験項目は、Technical Report (Vol.6)に示す敷砂の品質規格値に基づいて最大粒径、75 μ m ふるい通過量、粗粒率(FM)および細粒化に対する抵抗性を確認します。

目地用材料として用いる目地砂の基準試験項目は、Technical Report (Vol.7)に示す目地砂の品質規格値に基づいて最大粒径および75 μ mふるい通過量を確認します。

⑤ ILブロックの基準試験

ILブロックの基準試験項目は、Technical Report (Vol.4)に示すILブロックの品質規格値に基づいて、ILブロック形状、寸法、厚さ、強度、すべり抵抗性、透水係数および保水量/吸水率、路面温度上昇抑制値を確認します。なお、透水係数は透水性ILブロックに、保水性/吸水性は保水性ILブロックに、路面温度上昇抑制値は路面温度上昇抑制型ILブロックを使用する場合に確認します。

また、外観(ひび割れ・角欠け・変形・きずなど)、色、表面テクスチャについては、目視観察により規定どおりになっていることを確認します。

⑥ その他の材料の基準試験

その他の材料には、ジオテキスタイル、不織布、縁石や側溝等に用いる道路用コンクリート製品などがあり、これらについてはJISや協会規格、メーカー規格などに準拠して、確認を行います。

以上